

協定企業名	株式会社オンワードホールディングス	
交流行事名	協働の森交流・体験事業 間伐体験・交流会	
開催日時	平成 28 年 10 月 20 日（木） 10 時～13 時 30 分	
開催場所	オーベルジュ土佐山、高知市鏡吉原地区協定森林	
参加者	オンワード樫山社員 19 名 高知市、高知市森林組合職員及び高知県 9 名 総勢 28 名	
当日の様子	<p>今年初となる間伐体験・交流会は、高知市鏡庁舎前からスタートしました。</p> <p>スタッフの紹介の後、高知市森林組合の理事から歓迎の挨拶がありました。</p> <p>挨拶の後、一行は間伐体験現場へと移動します。これまで活動を行ってきた「オンワード“虹の森”」は間伐整備が完了し、今年度から新しく協定林となった高知市鏡吉原地区の市有林が、今回の活動場所となります。</p> <p>実はオンワードの皆さん、広島を早朝に出発し、遠路はるばる 4 時間近くかけ車を運転して来られています。「タフ」の一言に尽きます。そして活動への意欲がみなぎっていますね。</p> <p>参加者の車は鏡川上流域の急峻な山間をぬうように走り、40 分ほどかけて現場に到着しました。</p> <p>ヘルメットと軍手の配布が終わり、4 班に分かれて、さっそく活動開始です。</p> <p>急な斜面を足元に気をつけながら下っていきます。</p> <p>慣れないせいか、皆、ゆっくりとおぼつかない足取りで作業地まで下りました。</p> <p>今回は初心者の方が数名、中には連続参加の強者もおおり、久々のチェーンソーを使って伐採したり、中にはノコギリでの伐採に挑戦したり、各々が楽しく間伐体験活動を行いました。</p> <p>各班に高知市森林組合の方が指導者として付き、安全を確かめながらの作業でした。</p> <p>やはり、日頃使った事のない、道具なので初めは四苦八苦していましたが、森林組合の方の丁寧な説明と、参加者のやる気で作業は見る見る進んでいきました。</p> <p>初めは、説明どおり、受け口作りを行うのですが、いくらノコギリを動かしてもなかなかできず、手こずっていました。</p>	





また、いざ、倒そうとすると、目指した方向に木がうまく倒れなかったりもしていました。

中には初めてチェーンソーを使う女性もいました。初めは恐る恐る触っていましたが、うまく木が倒れた時はとても充実した表情でした。時間が経つにつれ、みなさんだんだんと上手く伐り倒せるようになってきました。

40分ほどの間伐体験活動も無事終了し、もと来た斜面をまた登っていきます。体力を使ったあとの上り坂って、結構ツラかったようでした。

けれど、この後はお楽しみの交流会。土佐の郷土料理とお酒（飲める方は）が待っています。



ホテル「オーベルジュ土佐山」に移動し、広場に机やイスをセッティング。今日の活動の労いの挨拶と乾杯の音頭とともに、交流会スタートです。

今回のメニューは、地元の食材を使ったお弁当に、高知名物かつおのタタキ、そしてあたたかい豚汁です。

みなさん美味しそうに食べながら、写真を撮ったり、話が弾んだり、楽しんでいる様子でした。

高知市の課長とオンワードさんがすでに来年度の交流会について、青空談義を行っていましたが、ひょっとしたら来年度はさらにパワーアップした交流会が行われるのではないのでしょうか。



食事も終わり、全員で片付けをし、交流活動は終了となりました。

これからまた4時間かけて広島まで帰るとのことですが、そんな苦勞をみじんも感じさせない晴れやかな表情のまま、高知を後にしたオンワードの皆さんでした。

本当にお疲れ様でした。

【記念撮影】

